



2020年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年11月6日

上場会社名 サッポロホールディングス株式会社 上場取引所 東 札
 コード番号 2501 URL <https://www.sapporoholdings.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾賀 真城
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 小松 達也 TEL 03-5423-7407
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上収益 | | 事業利益 | | 営業利益 | | 四半期利益 | | 親会社の所有者に帰属する四半期利益 | | 四半期包括利益合計額 | |
|----------------|---------|-------|-------|-------|--------|---|--------|---|-------------------|---|------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年12月期第3四半期 | 315,346 | △12.7 | 1,173 | △81.7 | △2,041 | — | △1,162 | — | △925 | — | △8,084 | — |
| 2019年12月期第3四半期 | 361,015 | — | 6,401 | — | 7,769 | — | 4,214 | — | 4,560 | — | 10,933 | — |

| | 基本的1株当たり 四半期利益 | 希薄化後1株当たり 四半期利益 |
|----------------|-------------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年12月期第3四半期 | △11.87 | △11.87 |
| 2019年12月期第3四半期 | 58.55 | 55.14 |

(参考) 税引前四半期利益 2020年12月期第3四半期 △2,850百万円 2019年12月期第3四半期 7,000百万円

※事業利益とは、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除した、恒常的な事業の業績を測る当社独自の利益指標です。

※当社グループは、前連結会計年度において北米飲料事業を非継続事業に分類したため、売上収益、事業利益、営業利益、税引前四半期利益は、非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しております。なお、対応する前第3四半期連結累計期間についても同様に組み替えて表示しているため、これらの対前期増減率は、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 資産合計 | 資本合計 | 親会社の所有者に 帰属する持分 | 親会社所有者 帰属持分比率 |
|----------------|---------|---------|--------------------|------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年12月期第3四半期 | 643,696 | 163,145 | 162,972 | 25.3 |
| 2019年12月期 | 638,722 | 174,524 | 174,071 | 27.3 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|----------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年12月期 | — | 0.00 | — | 42.00 | 42.00 |
| 2020年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2020年12月期 (予想) | — | — | — | 42.00 | 42.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上収益 | | 事業利益 | | 営業利益 | | 当期利益 | | 親会社の所有者に 帰属する当期利益 | | 基本的1株当たり 当期利益 |
|----|---------|------|-------|-------|--------|---|--------|---|----------------------|---|------------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 444,500 | △9.6 | 1,000 | △91.5 | △7,900 | — | △6,500 | — | △6,500 | — | △83.44 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 2020年12月期3Q | 78,794,298株 | 2019年12月期 | 78,794,298株 |
| 2020年12月期3Q | 896,223株 | 2019年12月期 | 898,162株 |
| 2020年12月期3Q | 77,897,518株 | 2019年12月期3Q | 77,891,207株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記載等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 要約四半期連結財政状態計算書 | 4 |
| (2) 要約四半期連結損益計算書 | 6 |
| (3) 要約四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (4) 要約四半期連結持分変動計算書 | 8 |
| (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (事業セグメント) | 10 |
| (重要な後発事象) | 11 |

○第3四半期決算短信補足説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年1月1日～9月30日）において、当社グループは新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、主に業務用ビール売上、自動販売機における飲料売上、ピヤホール、カフェチェーンを始めとした外食店舗売上が、前年同期と比較して大きく減少しました。

その結果、売上収益及び事業利益は不動産事業を除き前年同期から減収減益となり、営業利益はすべてのセグメントで前年同期から減益となったため、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比で減益となりました。

| | |
|-------------------|--------------------------|
| 売上収益 | 3,153億円（前年同期比457億円、13%減） |
| 事業利益（※） | 12億円（前年同期比52億円、82%減） |
| 営業損失 | 20億円（前年同期は78億円の利益） |
| 親会社の所有者に帰属する四半期損失 | 9億円（前年同期は46億円の利益） |

※事業利益は、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除した、恒常的な事業の業績を測る当社グループ独自の利益指標です。

以下、事業セグメント別の概況は記載のとおりです。また、当期より「その他事業」に区分していた物流事業を、「酒類事業」に区分いたします。これに伴い、前期比較につきましては、前年数値を変更後セグメント区分に組み替えた数値と比較しております。

〔酒類事業〕

（日本・アジア）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、業務用市場の需要に甚大な影響を受けており、日本国内におけるビール類総需要は、前年同期比91%に留まったと推定されます。

ビールでは、業務用ビールの売上数量が大幅に減少しましたが、主力の「サッポロ生ビール黒ラベル」の缶製品は好調であり、売上数量は前年同期比104%となりました。新ジャンルでは、2月に発売した新商品「サッポロ GOLD STAR」が好評を博しており、新ジャンル合計の売上数量は前年同期比131%となりました。以上の結果、家庭用商品は好調でしたが、業務用ビール売上数量減少の穴埋めを出来ず、ビール類合計の売上数量は前年同期比92%となりました。

RTD（※1）では、コラボRTDの軸商品である「男梅サワー」が順調に推移しましたが、主力の「サッポロチューハイ99.99<フォーナイン>」が伸び悩んだことなどから、売上収益は前年同期を下回りました。

ワイン・洋酒では、業務用市場における需要減少により、売上収益は前年同期を下回りました。

和酒では、甲乙混和芋焼酎売上No.1（※2）の「こくいも」、昨年10月に発売した「濃いめのレモンサワーの素」が好調に推移し、売上収益は前年同期を上回りました。

アジアでは、ベトナム国内において、アルコールに対する規制強化や、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けている中、引き続き持続的に利益を創出できる販売体制の確立に取り組んでいます。

（北米）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、業務用市場の需要に甚大な影響を受けており、北米におけるビール類総需要は、アメリカ、カナダともに前年同期を下回ったと推定されます。

海外ブランドビールでは、家庭用比率の高いスリーマン社が牽引し、売上数量は前年同期を上回りました。

サッポロブランドビールでは、主に米国のレストラン閉鎖に伴う業務用市場の停滞により、売上数量は前年同期を下回りました。

（外食）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、飲食業界において甚大な影響を受けています。

外食事業では、緊急事態宣言の解除後もリモートワークや新しい生活様式の推進などを背景に来客数が思うように回復せず、引き続き厳しい経営環境が続きました。食事メニューやテイクアウト・デリバリー商品の強化、個人客向け飲み放題コースの提案や、店舗の営業時間・店休日の見直しや店舗賃料の減額交渉など、徹底したコスト削減にも取り組みましたが、前年同期と比較して大幅な減収減益となりました。

なお、9月末時点の国内店舗数は185店舗となりました。

以上の結果、酒類事業の売上収益は2,068億円（前年同期比360億円、15%減）となり、事業利益は3億円（前年同期比44億円、93%減）、営業損失は37億円（前年同期は44億円の利益）となりました。

※1 RTD：Ready To Drinkの略。購入後そのまま飲める、缶チューハイなどのアルコール飲料

※2 インテージSRI甲乙混和芋焼酎市場2018年12月～2020年9月累計販売金額全国SM/CVS/酒DSの合計

〔食品飲料事業〕

日本国内の食品飲料市場は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、業務用市場及び自動販売機における需要に甚大な影響を受けており、国内における飲料の総需要は、前年同期比94%に留まったと推定されます。

国内飲料では、レモン飲料が健康意識の高まりを背景に好調に推移しましたが、自動販売機における売上数量減少をカバーするには至らず、飲料合計の売上数量は前年同期を下回りました。

国内食品では、巣ごもり需要によって箱入り・カップ入り商品を中心にスープが伸長し、売上数量は前年同期を上回りました。レモン食品では、「ポッカレモン100」やカクテルの材料が前年同期を大きく上回り、売上数量は前年同期を上回りました。プランツミルクでは、豆乳ヨーグルトが貢献し、売上数量は前年同期を上回りました。

カフェチェーン「カフェ・ド・クリエ」を展開するポッカクリエイト社は、緊急事態宣言発令期間中、都市部を中心に臨時休業や営業短縮を余儀なくされたため、売上収益は前年同期を下回りました。

以上の結果、食品飲料事業の売上収益は910億円（前年同期比88億円、9%減）となり、事業損失は23億円（前年同期は10億円の損失）、営業損失は25億円（前年同期は12億円の損失）となりました。

〔不動産事業〕

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、首都圏オフィス賃貸市場の空室率は引き続き上昇トレンドにあります。また、平均賃料水準は足許で下降トレンドに入ってきております。

不動産事業では、収益の柱である「恵比寿ガーデンプレイスタワー」をはじめ、首都圏を中心に保有する各物件で高稼働率を維持し、オフィスの賃料水準も維持しています。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、商業施設に関する売上収益が減少しており、今後はオフィス賃料収入にも影響が出てくることが予想されます。

収益力の更なる向上に向けては、長期的な視点から物件ポートフォリオの戦略的な組替えを継続し、恵比寿エリアでの賃貸物件取得と価値向上、私募ファンドへのエクイティ投資など成長投資にも取り組みました。

以上の結果、不動産事業の売上収益は175億円（前年同期比9億円、5%減）、事業利益は80億円（前年同期比2億円、2%増）、営業利益は86億円（前年同期比11億円、12%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産は、営業債権及びその他の債権、その他の金融資産（非流動）の減少等があった一方、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による資金調達環境の逼迫等に備え、現金及び現金同等物を増加させたことにより、前連結会計年度末と比較して50億円増加し、6,437億円となりました。

負債は、その他の流動負債、その他の金融負債（非流動）、繰延税金負債の減少等があった一方、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による資金調達環境の逼迫等に備え、社債やコマーシャルペーパーの発行を増加させたため、前連結会計年度末と比較して164億円増加し、4,806億円となりました。

資本は、親会社の所有者に帰属する四半期損失の計上、期末配当の実施、その他の資本の構成要素が減少したことにより、前連結会計年度末と比較して114億円減少し、1,631億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の通期連結業績予想につきましては、2020年8月6日に発表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年12月31日) | 当第3四半期 連結会計期間 (2020年9月30日) |
|-----------------|--------------------------|----------------------------------|
| 資産 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び現金同等物 | 15,215 | 52,477 |
| 営業債権及びその他の債権 | 92,529 | 66,706 |
| 棚卸資産 | 36,528 | 38,634 |
| その他の金融資産 | 5,403 | 5,122 |
| その他の流動資産 | 6,090 | 9,936 |
| 流動資産合計 | 155,765 | 172,874 |
| 非流動資産 | | |
| 有形固定資産 | 147,014 | 141,480 |
| 投資不動産 | 219,589 | 218,745 |
| のれん | 18,358 | 18,263 |
| 無形資産 | 8,844 | 9,029 |
| 持分法で会計処理されている投資 | 428 | 442 |
| その他の金融資産 | 78,728 | 72,634 |
| その他の非流動資産 | 7,445 | 6,027 |
| 繰延税金資産 | 2,551 | 4,202 |
| 非流動資産合計 | 482,957 | 470,822 |
| 資産合計 | 638,722 | 643,696 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年12月31日) | 当第3四半期 連結会計期間 (2020年9月30日) |
|------------------|--------------------------|----------------------------------|
| 負債及び資本 | | |
| 負債 | | |
| 流動負債 | | |
| 営業債務及びその他の債務 | 34,475 | 31,394 |
| 社債及び借入金 | 72,121 | 103,957 |
| リース負債 | 6,538 | 6,181 |
| 未払法人所得税 | 2,414 | 655 |
| その他の金融負債 | 33,021 | 38,187 |
| その他の流動負債 | 61,903 | 44,427 |
| 流動負債合計 | 210,472 | 224,803 |
| 非流動負債 | | |
| 社債及び借入金 | 155,220 | 161,923 |
| リース負債 | 23,921 | 22,210 |
| その他の金融負債 | 46,624 | 45,599 |
| 退職給付に係る負債 | 5,007 | 6,369 |
| その他の非流動負債 | 2,828 | 2,790 |
| 繰延税金負債 | 20,125 | 16,857 |
| 非流動負債合計 | 253,725 | 255,749 |
| 負債合計 | 464,197 | 480,551 |
| 資本 | | |
| 資本金 | 53,887 | 53,887 |
| 資本剰余金 | 40,958 | 40,944 |
| 自己株式 | △1,792 | △1,786 |
| 利益剰余金 | 51,521 | 46,770 |
| その他の資本の構成要素 | 29,497 | 23,158 |
| 親会社の所有者に帰属する持分合計 | 174,071 | 162,972 |
| 非支配持分 | 454 | 172 |
| 資本合計 | 174,524 | 163,145 |
| 負債及び資本合計 | 638,722 | 643,696 |

(2) 要約四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 継続事業 | | |
| 売上収益 | 361,015 | 315,346 |
| 売上原価 | 246,213 | 219,059 |
| 売上総利益 | 114,802 | 96,287 |
| 販売費及び一般管理費 | 108,402 | 95,114 |
| その他の営業収益 | 3,127 | 2,670 |
| その他の営業費用 | 1,758 | 5,884 |
| 営業利益 (△損失) | 7,769 | △2,041 |
| 金融収益 | 759 | 734 |
| 金融費用 | 1,543 | 1,557 |
| 持分法による投資利益 | 14 | 14 |
| 税引前四半期利益 (△損失) | 7,000 | △2,850 |
| 法人所得税 | 2,538 | △1,688 |
| 継続事業からの四半期利益 (△損失) | 4,462 | △1,162 |
| 非継続事業 | | |
| 非継続事業からの四半期損失 (△) | △248 | — |
| 四半期利益 (△損失) | 4,214 | △1,162 |
| 四半期利益 (△損失) の帰属 | | |
| 親会社の所有者 | 4,560 | △925 |
| 非支配持分 | △346 | △237 |
| 四半期利益 (△損失) | 4,214 | △1,162 |
| 基本的1株当たり四半期利益 (△損失) (円) | | |
| 継続事業 | 59.83 | △11.87 |
| 非継続事業 | △1.29 | — |
| 基本的1株当たり四半期利益 (△損失) (円) | 58.55 | △11.87 |
| 希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失) (円) | | |
| 継続事業 | 56.35 | △11.87 |
| 非継続事業 | △1.21 | — |
| 希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失) (円) | 55.14 | △11.87 |

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日) |
|-----------------------------|---|---|
| 四半期利益 (△損失) | 4,214 | △1,162 |
| その他の包括利益 | | |
| 純損益に振り替えられることのない項目 | | |
| その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産 | 3,297 | △4,947 |
| 確定給付制度の再測定 | 3,961 | △646 |
| 純損益に振り替えられることのない項目合計 | 7,258 | △5,593 |
| 純損益に振り替えられる可能性のある項目 | | |
| 在外営業活動体の換算差額 | △374 | △1,351 |
| キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分 | △166 | 22 |
| 純損益に振り替えられる可能性のある項目合計 | △540 | △1,329 |
| 税引後その他の包括利益合計 | 6,718 | △6,922 |
| 四半期包括利益 | 10,933 | △8,084 |
| 四半期包括利益の帰属 | | |
| 親会社の所有者 | 11,375 | △7,813 |
| 非支配持分 | △443 | △270 |
| 四半期包括利益 | 10,933 | △8,084 |

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

| | 資本金 | 資本剰余金 | 自己株式 | 利益剰余金 | その他の資本の構成要素 | | | | 合計 |
|------------------------|--------|--------|--------|--------|--------------|-------------------------------|---------------------------|------------|--------|
| | | | | | 在外営業活動体の換算差額 | キャッシュ・ユー・プロ・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分 | その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産 | 確定給付制度の再測定 | |
| 2019年1月1日残高 | 53,887 | 40,998 | △1,822 | 46,065 | △1,485 | △188 | 24,046 | - | 22,373 |
| 四半期利益(△損失) | | | | 4,560 | | | | | - |
| 税引後その他の包括利益 | | | | | △353 | △90 | 3,297 | 3,961 | 6,815 |
| 四半期包括利益 | - | - | - | 4,560 | △353 | △90 | 3,297 | 3,961 | 6,815 |
| 自己株式の取得 | | | △5 | | | | | | - |
| 自己株式の処分 | | 0 | 39 | | | | | | - |
| 配当 | | | | △3,277 | | | | | - |
| 連結子会社の売却による変動 | | | | | | | | | - |
| 株式に基づく報酬取引 | | △48 | | | | | | | - |
| その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替 | | | | 3,701 | - | - | 259 | △3,961 | △3,701 |
| 所有者との取引額合計 | - | △48 | 34 | 424 | - | - | 259 | △3,961 | △3,701 |
| 2019年9月30日残高 | 53,887 | 40,950 | △1,788 | 51,049 | △1,838 | △278 | 27,603 | - | 25,487 |

| | 親会社の所有者に帰属する持分合計 | 非支配持分 | 資本合計 |
|------------------------|------------------|-------|---------|
| 2019年1月1日残高 | 161,501 | 3,234 | 164,735 |
| 四半期利益(△損失) | 4,560 | △346 | 4,214 |
| 税引後その他の包括利益 | 6,815 | △97 | 6,718 |
| 四半期包括利益 | 11,375 | △443 | 10,933 |
| 自己株式の取得 | △5 | - | △5 |
| 自己株式の処分 | 39 | - | 39 |
| 配当 | △3,277 | △12 | △3,289 |
| 連結子会社の売却による変動 | - | △273 | △273 |
| 株式に基づく報酬取引 | △48 | - | △48 |
| その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替 | - | - | - |
| 所有者との取引額合計 | △3,292 | △285 | △3,576 |
| 2019年9月30日残高 | 169,585 | 2,507 | 172,091 |

当第3四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）

（単位：百万円）

| | 資本金 | 資本剰余金 | 自己株式 | 利益剰余金 | その他の資本の構成要素 | | | | 合計 |
|------------------------|--------|--------|--------|--------|--------------|-----------------------------|---------------------------|------------|--------|
| | | | | | 在外営業活動体の換算差額 | キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分 | その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産 | 確定給付制度の再測定 | |
| 2020年1月1日残高 | 53,887 | 40,958 | △1,792 | 51,521 | △863 | △68 | 30,428 | - | 29,497 |
| 四半期利益（△損失） | | | | △925 | | | | | - |
| 税引後その他の包括利益 | | | | | △1,318 | 22 | △4,947 | △646 | △6,889 |
| 四半期包括利益 | - | - | - | △925 | △1,318 | 22 | △4,947 | △646 | △6,889 |
| 自己株式の取得 | | | △3 | | | | | | - |
| 自己株式の処分 | | 0 | 9 | | | | | | - |
| 配当 | | | | △3,277 | | | | | - |
| 支配継続子会社に対する持分変動 | | △2 | | | | | | | - |
| 株式に基づく報酬取引 | | △12 | | | | | | | - |
| その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替 | | | | △549 | - | - | △97 | 646 | 549 |
| 所有者との取引額合計 | - | △14 | 6 | △3,826 | - | - | △97 | 646 | 549 |
| 2020年9月30日残高 | 53,887 | 40,944 | △1,786 | 46,770 | △2,180 | △46 | 25,384 | - | 23,158 |

| | 親会社の所有者に帰属する持分合計 | 非支配持分 | 資本合計 |
|------------------------|------------------|-------|---------|
| 2020年1月1日残高 | 174,071 | 454 | 174,524 |
| 四半期利益（△損失） | △925 | △237 | △1,162 |
| 税引後その他の包括利益 | △6,889 | △33 | △6,922 |
| 四半期包括利益 | △7,813 | △270 | △8,084 |
| 自己株式の取得 | △3 | - | △3 |
| 自己株式の処分 | 9 | - | 9 |
| 配当 | △3,277 | △10 | △3,287 |
| 支配継続子会社に対する持分変動 | △2 | △1 | △3 |
| 株式に基づく報酬取引 | △12 | - | △12 |
| その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替 | - | - | - |
| 所有者との取引額合計 | △3,285 | △11 | △3,296 |
| 2020年9月30日残高 | 162,972 | 172 | 163,145 |

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(事業セグメント)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、純粋持株会社である当社の下、各事業会社が、取り扱う製品・サービス・販売市場についての事業展開・戦略を立案し、事業活動を行っております。

当社グループの報告セグメントは、主に事業会社及びその関係会社を基礎とした製品・サービス・販売市場別に構成され、「酒類事業」、「食品飲料事業」、「不動産事業」の3事業を報告セグメントとしております。

「酒類事業」は、酒類の製造・販売、各種業態の飲食店の経営等を行っております。

「食品飲料事業」は、食品・飲料水の製造・販売等を行っております。

「不動産事業」は、不動産賃貸等を行っております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当連結会計年度より「その他事業」に区分していた物流事業を、「酒類事業」に含めております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、区分変更後の報告セグメントの区分方法に基づき作成したものを開示しております。また、当社グループは、前連結会計年度において北米飲料事業を非継続事業に分類したため、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は非継続事業を除く継続事業の金額に組み替えて表示しております。

(2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は、以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）

(単位：百万円)

| | 酒類 | 食品飲料 | 不動産 | その他 | 合計 | 調整額 | 連結 |
|---------------|---------|---------|--------|-----|---------|--------|---------|
| 売上収益 | | | | | | | |
| 外部収益 | 242,769 | 99,813 | 18,324 | 109 | 361,015 | — | 361,015 |
| セグメント間収益 | 7,396 | 194 | 2,031 | 0 | 9,621 | △9,621 | — |
| 合計 | 250,165 | 100,007 | 20,355 | 109 | 370,637 | △9,621 | 361,015 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 4,382 | △1,244 | 9,731 | 10 | 12,880 | △5,110 | 7,769 |

(注) セグメント間収益は、市場実勢価格に基づいております。

当第3四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）

(単位：百万円)

| | 酒類 | 食品飲料 | 不動産 | その他 | 合計 | 調整額 | 連結 |
|---------------|---------|--------|--------|-----|---------|---------|---------|
| 売上収益 | | | | | | | |
| 外部収益 | 206,797 | 90,966 | 17,459 | 123 | 315,346 | — | 315,346 |
| セグメント間収益 | 8,849 | 497 | 1,959 | 1 | 11,305 | △11,305 | — |
| 合計 | 215,646 | 91,463 | 19,418 | 123 | 326,650 | △11,305 | 315,346 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △3,655 | △2,469 | 8,609 | △4 | 2,480 | △4,521 | △2,041 |

(注) セグメント間収益は、市場実勢価格に基づいております。

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康食品事業等を含んでおります。調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間消去取引が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

新型コロナウイルス感染症拡大が当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの収益及び業績に与えた影響は「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。